


令和6年能登半島地震 被害・復旧状況カルテ

施設等名称	能登長寿大仏周辺施設		
位置図	地番	乙ヶ崎甲66	
			
施設概要 発災当初の 状況	被害額	50,000,000 円	
	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺施設：能登長寿大仏、釣鐘堂、三重の塔、観音堂、極楽橋、弘法大師堂、親鸞聖人像、阿弥蛇堂、観音像、太子像、蓮如像、仏心堂、附属建築物（柱・街灯等） ・災害時の状況：上記施設すべてが被災。三重の塔については、倒壊のおそれあり。 ・大仏庵は、棟瓦及び外壁・内壁の破損、トイレ損傷等 		
被害状況詳細	<ul style="list-style-type: none"> ・能登長寿大仏前→灯籠 1基/2基 破損 ・仏心堂→屋根瓦、外壁 破損 ・三重の塔→全壊 ・大仏庵→全壊、・その他建築物（灯籠）→灯籠4基/6基 破損 		
復旧状況 今後の方針 (R6.12.1現在)	<ul style="list-style-type: none"> ・能登長寿大仏附属建築物（柱） 未復旧 ・仏心堂 未復旧 ・三重の塔 未復旧 ・その他建築物（街灯） 未復旧 <p>※現在、安全性が確保出来ないため立ち入り禁止としている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再開未定（個人財産のため、所有者である真和園との協議） ・大仏庵は、公費解体し撤去予定（時期未定） 		
写真	撮影日時	令和6年1月20日	
	